

パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む事業・研究への支援

「依存症女性の支援とリカバリーデーイベントの開催」事業

市民を対象に依存問題の回復を伝えるイベント開催と女性依存症者を支援するための相談窓口を開設

日本では依存症問題に関する偏見はなくなり、一般の市民が理解を深めるところまで至っていない。しかし世界的には、依存症は一般的な問題であり、適切な支援と地域の理解があれば回復できる問題となっている。神戸市を拠点に依存症リハビリ施設を運営する団体が、一般の人々が楽しめるイベントを企画・実施した。

依存症への理解を進めるために、カナダで実施されているイベントを神戸市でも!

「神戸ダルク ヴィレッジ」は、薬物、アルコール、ギャンブルなど各種の依存問題、その家族、関係者に対して、回復や社会復帰を包括的に支援する事業や依存症に関する啓発事業を行い、社会全体の利益に寄与することを目的に様々な活動に取り組んでいる依存症リハビリ施設である。

2年前に、カナダのプリティッシュコロンビア州にあるニューウェストミンスター市で開催された「リカバリーデーフェスティバル」に参加した。欧米などの先進国では、依存症は市民が普通に考える問題の一つとして捉えられており、「依存=通常の生活ができなくなった人」というような意識はない。市民が依存症に対して理解を深めるために行われて

いるのがリカバリーデーフェスティバルだが、このイベントでは市が協力し、市民が歩行者天国的なお祭りとして参加できるもので、屋台での食事や音楽コンサートなども楽しめるようになっている。同じような趣旨のイベントを神戸市でも実施しようと、神戸ダルク ヴィレッジでは、2024年3月16日に「リカバリーデーフェスティバル in 神戸」を神戸市中央区の東遊園地で開催した。

当日はあいにくの雨だったが、子どもたちの遊戯スペース、カフェ、依存症啓発資料の展示など、今後の継続につながる取り組みとなった。また、依存症の女性に対する支援がほとんど行われていない兵庫県で支援の基礎となる居場所作りを進めるため、女性専用の相談窓口を設け、資料を作成し、webサイトなどを通じて発信した。こうしたイベントやサイト構築などにPOSCの助成が活用された。



「リカバリーデーフェスティバル in 神戸」の開催を告知するチラシ



依存症の当事者が調理や接客に取り組む飲食ブース

パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む事業・研究への支援

「依存問題に海を活用した回復支援と普及啓発」事業

遊漁船の運営や漁業事業を通じて、依存問題を抱えた当事者の回復に向けた取り組みを支援

活動開始から25年を迎えた「ちゅーりっぷ会 長崎ダルク」は長崎市を中心に、薬物、アルコール、ギャンブルなどの様々な依存問題を抱えた当事者を対象に回復支援を行っている。長崎の海を活用して、依存問題当事者の回復支援、子どもキャンプでの子どもの健全育成の促進、ホームページや事業活動だよりを通じた普及啓発事業に取り組んだ。

プレジャーボートによる遊漁船運営や漁業、子どもたちを招いてのキャンプで社会参加

「ちゅーりっぷ会 長崎ダルク」は、1999年から薬物やアルコール、ギャンブルなどの依存問題の回復支援、依存問題を抱える当事者・家族・援助者などへの相談支援、依存問題についての社会啓発事業などに取り組んできた。

こうした活動の一環として、依存問題に悩む当事者に就労機会を提供し、働くことを通じて回復への意欲や達成感の獲得、自己肯定感の向上、社会参加への一歩を踏み出すきっかけとなることなどを目的に、プレジャーボートを活用した遊漁船の運営や漁業事業を始めた。

事業を始めるにあたって、当団体ではまず、専属スタッフが船舶操縦免許を取得し、その後、依存症当事者とともに釣り場の調査や漁を行い、釣った魚を魚市場に出荷

するまでの作業を行った。同時に遊漁船登録などの手続きを行うとともに、2025年3月にはホームページを開設し、遊漁船の運営をスタートさせた。これにより、依存問題に対する理解が深まり、関心を持つ方々が増えることを期待している。

また、当団体では2022年から児童福祉施設に通う子どもたちを招待し、自然の中で魚釣りを楽しむ「子どもキャンプ」事業にも取り組んでいる。このキャンプは依存症当事者が主体となって企画・運営するもので、2024年度は9月14日～15日に長崎県平戸市早福町の早福漁港及びまなび舎(旧早福小学校校舎)を会場に実施し、大人24人、子ども11人が参加した。子どもたちにとっては、魚食文化や自然に触れ、生きる喜びや命の大切を感じる機会となった。



新たに開始した漁業事業と児童福祉施設に通う子どもたちを招待した海釣りキャンプ



助成団体:一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ

<http://www.kobedarc.org/>



依存症からの回復支援を含め、依存症に対応する環境が整いつつあります

これまで何度も神戸ダルク ヴィレッジの取り組みに支援をいただいたことで、兵庫県内での依存症からの回復支援が安定してきました。相談件数も増え、依存症の問題を誰にも相談することができなかつた環境から、大きく変化しつつあります。今後も、よろしく願いいたします。

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ
代表理事 梅田 靖規さん

助成団体:特定非営利活動法人 ちゅーりっぷ会 長崎ダルク

<https://nagasaki-darc.com>



今回の事業が明るい社会の実現に貢献できたことを嬉しく思います

おかげさまで遊漁船の運営や漁業を通じて依存問題を抱える当事者の回復を支援することができました。また、この活動を通じて依存問題について多くの方に知っていただく貴重な機会を得ました。誠にありがとうございました。

特定非営利活動法人 ちゅーりっぷ会 長崎ダルク
代表理事 中川 賀雅さん